

まつぼっくり



学校教育目標「主体的に学び合い、達成の喜びを自信に変え、ふるさとを誇りに思う児童の育成」

災害等に備えて！

阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震・台風・大雨などの災害を今までの人生で知りました。とんでもない驚異です。最近では、くまの目撃情報も各県であります。いつどんな想定外のことが起こるかわからない状況かもしれません。私は子どもたちにいつも「命」を大切に、「成長」してください、と言っています。しかし、命を守るために時には大人の力が必要です。そこで毎年、引き渡し訓練を行っています。平日にもかかわらず多くの保護者の方々が協力してくださり、先日訓練を行うことができました。学校から引き渡しをしなくていいのが一番ですが、今後何があるかわかりません。想定外を想定し子どもの命を守ることは、我々大人の役目です。

体育館に集合した児童



ドライブスルーで受付

わかった！ つたえたい！

私は、子どもたちの様子や頑張り、人間関係、児童と先生との信頼関係、また授業をしている先生方の頑張りを見るために、ほぼ毎日各教室を回ります。授業を観ていて、校長として嬉しく感じることはたくさんありますが、中でも写真にあるように子どもたちの目がきらきらと輝いているときです。算数の授業でわからなかったことが「わかった」ときの目、自分が考えたことを「つたえたい」と思っているときの目、精一杯考えるときの目、発表する人の目を見てしっかり聞くときの目。授業をしている先生方が楽しそうにしている目。子どもを温かく見守る目、子どもに対する愛情一杯の目、子どもに対して真剣に対応する目。

「わかった」の目



「つたえたい」の目



この様な様々な子どもや先生の目を授業を通して観ることができます。だから、毎日の授業参観は好きです。またそのようなすばらしい目を毎日どのクラスでも観ることができます。こんなに幸せなことはありません。各担任の先生が愛情いっぱい子どもたちに関わり、教師自らが楽しみながら授業をすると、子どもたちものってきます。相乗効果で和やかで温かみのある、みんなが意欲的に授業に参加できる雰囲気ができあがります。肌と心で感じます。

子どもはその45分間、一生懸命考えたり書いたり話し合ったりしていますので、時間はあっという間です。子どもたちの学ぶ権利をしっかりと守り、さらに有意義な時間にしていけるよう職員一同これからもがんばっていきます。